CASE 01｜発語・指さし・初期要求

ことばや指さしが出ず 泣いたり手を引いて訴える

復唱を強いず、遊びの中の「視線共有」と「絵カード選択」から自発語を引き出します



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 欲しい物があると大人の手を引いて連れていく(クレーン現象)
- 思いが伝わらないと、すぐ大声で泣いたり怒ったりしてしまう
- 名前を呼んでも振り向かず、「これなあに？」と尋ねても黙る

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
「言わせる練習」より「伝わって嬉しい体験」が土台です

発語の前段階として「大人と同じ物を見て共感する力(共同注意)」が必要です。質問攻めをやめ、遊びの中で「伝わった！」喜びを積み重ねると自然に声が出始めます。

お子さまの現在地から始める「2つのスタート分岐」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:指さしや視線がまだ出にくく泣いて訴える時
実物の玩具を2つ提示し、手を伸ばした方を「これだね！」と笑顔で渡す『実物2択』から伝わる安心感を育てます。

■ B:好きな玩具(電車・ブロック等)へ向かえる時
指導員が隣で同じ遊びを並走し、視線が合った瞬間に「ガタンゴトン！」「あけてだね」と短い言葉を添えて共感します。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



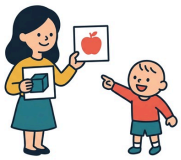
質問攻めによる緊張
「言ってみて」と求められるほど緊張し、発声が止まります。

02 共同注意



同じ物を見て指さし
見ている玩具を一緒に指さし、「大きいね！」と笑顔を共有します。

03 要求表出

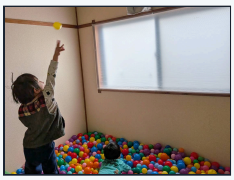


5秒待ってカード選択
先回りせず5秒待ち、絵カードや指さしに短い言葉を添えます。

04 育つ姿



指さしから二語文へ
「伝わると嬉しい！」実感が根づき、単語・二語文へ広がります。



実践① プラレール・図鑑での共同注意
「大好き！」を起点に言葉を添える
電車やパズルを「あか・あおどっち？」と2択で選び、連結時の「ガチャン！」等のリズム語彙を楽しく反復します。



実践② 絵カード・身振りでの要求表出
「あけて・ちょうだい」が叶う体験
視覚カードや身振りを併用し、泣かずに意思を伝えられた瞬間を全力で褒めて自発的な発声へつなげます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

欲しい物を見つめた時、すぐ渡さず『胸の前で3秒持ってニコッと待つ』と、大人の目を見たり指さし・声を出すきっかけが自然に生まれます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 02｜発音の明瞭化・会話のやり取り

発音が不明瞭で聞き取りにくい 会話のやり取りが続かない

言い直しを叱らず、楽しい「口腔あそび」と「ごっこ遊びの交代」で伝わる言葉を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 幼児語や部分語が多く、家族以外に何を言っているか伝わりにくい
- 質問すると同じ言葉を繰り返す(オウム返し)になり会話が続かない
- 自分の好きなことだけを一方的に話し、お友だちとの対話にならない

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
お口周りの運動コントロールと「順番交代」が育つ途中です

明瞭な発音には唇・舌・呼吸の連動が必要です。またオウム返しは質問の意味を処理している途中のサインであり、視覚的な2択を添えると意味理解と応答がスムーズに進みます。

お子さまの話し方に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:質問でオウム返しや答えに詰まる時
「何して遊ぶ？」ではなく、実物やカードを見せながら『ブロックと絵本どっち？』と視覚的な2択で尋ねて自己表現を助けます。

■ B:発音が不明瞭・声が小さくて聞き取りにくい時
言い直しを強制せず、スタッフが口元を見せながら正しい発音で温かく復唱(リキャスト)し、話す意欲を守ります。

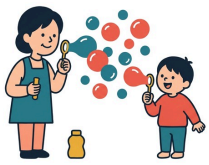
▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



口腔運動と語彙の途上
舌や唇の動きが未分化で、思いをすぐ言葉にするのが難しい段階です。

02 口腔機能



吹く・吸う・噛む遊び
シャボン玉・吹き戻し・咀嚼で、口唇と舌の筋力を楽しく育てます。

03 モデル提示



否定せずゆっくり復唱
言い間違いを否定せず、口元を見せて正しい語音を明瞭に返します。

04 育つ姿



ごっこ遊びで対話開花
「どうぞ」「ありがとう」と、お友だちや先生と楽しく対話できます。



実践① おままごと・お店屋さんでの対話
「これください・どうぞ」の往復練習
お人形やお店屋さんごっこを通じ、順番に話すルール(ターンテイキング)と2～3語文での表現を楽しく反復します。



実践② 口腔あそび＆よく噛む昼食・おやつ
吹く遊びとよく噛む食事で発声支援
息をコントロールする遊びと、温かい昼食・おやつをしっかり噛んで食べる習慣で、聞き取りやすい発音を支えます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お子さまが「ブーブー、あ！」と言った時、発音を直させるのではなく『うん、赤いブーブーが走ったね！』と1語足して笑顔で返す(拡大模倣)と自然に語彙が増えます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 03｜かんしゃく・パニック・手が出る

思い通りにならないと泣き叫ぶ 怒ると言葉より先に手が出る

パニック中に叱らず、感覚クールダウンで脳を鎮めてから「言葉で伝える代替行動」を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 負けた時や思い通りにならない時、床に転がって激しく泣き叫ぶ
- おもちゃを取られたり怒った瞬間に、言葉より先に手が出て叩く
- 一度スイッチが入ると大人の声が届かず、物を投げたり叫んだりする

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
わがままではなく「自律神経の過負荷」と「代替手段不足」です

幼児期は脳の感情ブレーキが発達途上にある上、「悔しい」「貸して」を咄嗟に言葉にできないため防衛反応として手や大声が出ます。クールダウンと伝える練習で必ず穏やかになります。

お子さまの興奮レベルに合わせた「2つの対応分岐」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:すでに大泣き・パニックに入っている時
言葉での説得を止め、刺激を減らした静かな空間でクッション等を抱える『深部圧迫アプローチ』により自律神経の鎮静を優先します。

■ B:イライラして今にも手が出そうな時
手が出る前にスタッフが間に入り、「悔しかったね」と気持ちを代弁した上で『かしてって言おうね』と具体的な代替行動を示します。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



感覚過負荷と言葉渋滞
悔しさをどう表現すればいいか分からず、脳がオーバーヒートしています。

02 鎮静化



深部圧迫クールダウン
静かな空間やクッションの心地よい重み(固有受容覚)で神経を鎮めます。

03 代替表現



気持ち代弁とカード
落ち着いた後に「やりたかったね」と共感し、「かして」の練習をします。

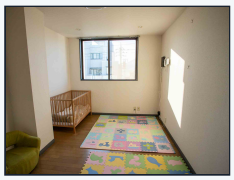
04 育つ姿



穏やかにSOSを出せる
叩いたり叫ばずに言葉やカードで伝えられ、立ち直りが早くなります。



実践① ボールプール＆深部圧迫ケア
心地よい圧刺激で自律神経を整える
緊張やパニック時にボールプールやクッションで身体を包み込むことで感覚センサーが落ち着き、気持ちを切り替えられます。



実践② お昼寝室での休息と気持ち代弁
疲労のかんしゃくを防ぎ伝え方を支援
園帰り等の疲れが見られる際は専用お昼寝室で休息を取り入れ、叩かずに「いや」「かして」と伝えられた瞬間を褒めて定着させます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

大泣きしている最中は脳が言葉を受け取れません。まずは声かけを止め、クッションごと抱きしめるか背中をさすり、呼吸が落ち着いてから「悔しかったね」と共感してください。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 04｜見通し・活動の切り替え・お片付け

遊びのおしまい・お片付け・次の活動へ切り替えられない

一方的な指示をやめ、「視覚タイマー」と「2択スイッチ」で納得して切り替える力を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 「お片付けだよ」「帰るよ」と声をかけると激しく拒否して泣き出す
- 予定が急に変わったり初めての活動になると、不安で立ち尽くす
- 好きな玩具を握りしめたまま、次の活動や移動に移れず時間がかかる

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
耳からの言葉は消えるため「目で見える見通し」が必要です

突然「終わりだよ」と言われると「楽しみを急に奪われた！」「次に何をされるか分からない」と強い不安を感じます。残り時間と予定を視覚化し、本人に選ぶ権利を渡すと動けます。

切り替え場面の様子に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:「片付けなさい」で反発・イヤイヤになる時
一方的な指示をやめ、『赤い箱と青い箱どっちから入れる？』『あと1回と2回どっち？』と本人が決める2択スイッチで納得感を作ります。

■ B:大切な玩具を手放すのが悲しくて泣く時
お気に入り玩具を置く『おやすみボックス(特等席)』を用意し、「おやつを食べたらまた会えるよ」と見通しを保証して安心させます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



見通し不安と急な終了
終わりと次の予定が見えないまま急かされ、脳がフリーズしています。

02 予定提示



絵カードで予定可視化
登所時に「①あそぶ→②かたづけ→③おやつ」を絵カードで示します。

03 事前予告



タイマーと2択決定
赤い残量タイマーで5分前に予告し、「どっちの箱に入れる？」と促します。

04 育つ姿



納得して自分で切替
タイマーの合図で気持ちよく片付けられ、園や家庭での移動もスムーズに。



実践① 写真・絵カードのスケジュール化
「今と次の予定」が一目でわかる教室
活動ごとに絵カードを確認し、終わったカードを自分で「おしまいポケット」へ入れるルーティンで主体的に動く力を育てます。



実践② 自己決定を取り入れた片付け遊び
「どっちから？」で片付けを達成感へ
写真ラベル付きの収納を使い、お子さま自身が選ぶことで「やらされる片付け」から「自分で決めて達成する片付け」へ変えます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お風呂や出発を促す時は「早くしなさい！」ではなく、『うさぎさんジャンプで行く？ペンギンさん歩きで行く？』と2択の質問に変えると、自分で選んだ瞬間に動けます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 05｜着席維持・姿勢・体幹バランス

椅子に座り続けられず立ち歩く すぐに姿勢が崩れてしまう

無理に座らせず、「粗大運動・感覚統合」で体幹と感覚欲求を満たしてから着席環境を整えます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 朝の会や絵本の時間に椅子に座っていられず、立ち歩いてしまう
- 座っていてもすぐに机に突っ伏したり、椅子からズリ落ちてしまう
- 周りの物音や目に入る玩具に気を取られ、目の前の活動に集中できない

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
「じっと座る」ことは、体幹を使う高度な全身運動です

重力に対して姿勢を保つ「体幹バランス(前庭覚・固有受容覚)」が未成熟だと、座っているだけで疲れ、脳が覚醒を保とうとして体を動かします。まず全身運動で感覚を満たすことが近道です。

離席・姿勢崩れの要因に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:エネルギーが有り余り体を動かしたいタイプ
着席前に3階までの階段昇降・中庭遊び・平均台サーキットで全身の感覚欲求をたっぷり満たし、スッキリした状態で机上活動へ入ります。

■ B:体幹が疲れやすく座ると姿勢が崩れるタイプ
足裏が床や足台にピタッとつくよう椅子を調整し、視界の余分な刺激を減らした上で、3分で達成できる短時間課題から成功体験を積みます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



体幹の未熟と感覚不足

姿勢を支える筋肉と感覚入力が不足し、座り続けることが苦痛な状態です。

02 感覚入力



階段昇降とサーキット

毎日の階段上り下り・平均台・マット運動で体幹と固有受容覚を目覚めさせます。

03 環境調整



足裏接地と短時間集中

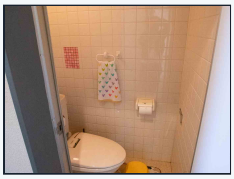
足がつく椅子調整と刺激を減らした机で、パズル等に3分間集中します。

04 育つ姿



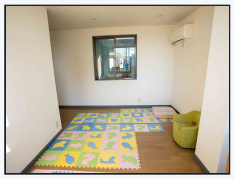
安定姿勢で活動に参加

背筋を伸ばして工作・食事に参加でき、就学に向けた集中の土台が育ちます。



実践① 3階までの階段昇降＆サーキット
毎日の動線を「体幹・姿勢づくり」に

スタッフと1段ずつ踏みしめる階段昇降や、マット・トンネル・けんけんぱ等の運動遊びで、座るための体幹とバランスを養います。



実践② 「動と静」の遊び＆集中環境調整
ピタッと止まる遊びと短時間着席課題

体を動かした後に「ピタッ」と止まる遊びで脳のブレーキ機能を育て、少しずつ椅子に座って取り組む時間を伸ばします。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」
食事や机の遊びの前に『1～2分間のジャンプ・階段上り下り』を取り入れ、椅子の下に足台(雑誌の束や箱)を置いて足裏がしっかりつくようにすると姿勢が安定します。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」
①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

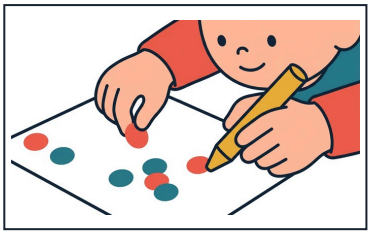
所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 06｜手先の器用さ・食具・運筆

手先が不器用で、スプーン・箸・鉛筆・工作を嫌がってしまう

いきなり鉛筆や箸を特訓せず、パスタ入れやシール貼り等の「夢中になれる指先遊び」から育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- スプーンやクレヨンをグー握りしてしまい、食べこぼしや筆圧の偏りがある
- シール剥がし・おりがみ・袋開けが難しく、すぐ「やって！」と怒る
- ぬり絵やハサミなどの制作活動を嫌がり、手先を使う遊びを避ける

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
指先の器用さは「手首の安定」と「力加減の感覚」から育ちます

目と手の協応や力加減の感覚(固有受容覚)が未分化なまま細かい作業を強いられると苦手意識が残ります。遊びの中で楽しく親指・人差し指・中指(3指)を使うと自然に器用になります。

お子さまの手先の様子に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:失敗が嫌で最初から「やって！」と頼る時
最初の8割はスタッフが手を添えて一緒に動かし、最後の『ポンと貼る・袋を引く2割』をお子さまに任せて「できた！」自信を守ります。

■ B:力加減が難しく紙が破れたり外れる時
粘土・スライムをちぎる感触遊びや、ボトルにパスタを落とす遊びから始め、手首の固定と3指でつまむピンチ力を楽しく養います。

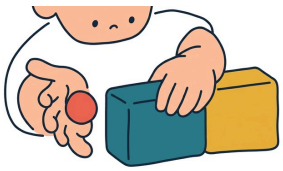
▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



手首と3指の未分化
指を1本ずつ独立して動かす感覚が育っておらず、細かい操作が負担です。

02 感触遊び



粘土ちぎりとブロック
粘土・スライムやブロック連結で、手のひらのアーチと力加減を育てます。

03 3指あそび

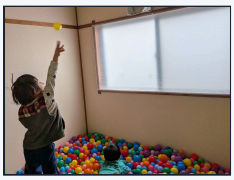


パスタ入れ・シール
ボトルへのパスタ入れ・シール貼り・おりがみで親指・人差し指・中指を鍛えます。

04 育つ姿



食具・袋開け・運筆へ
おやつ袋開け・タオルたたみ・スプーンや箸・鉛筆持ちが自信をもってできます。



実践① パスタ入れ・シール・おりがみ
夢中になれる遊びで「目と手の協応」
電車の台紙へのシール貼りや、細いパスタをボトルの口に入れるゲームを通じ、箸使いや鉛筆持ち(運筆)に直結する指先操作力を育てます。



実践② おやつ袋開け＆タオルたたみ
生活場面で「両手を協調させる力」へ
おやつ時に自分で袋を開ける挑戦や、角を合わせてタオルをたたむお手伝いを取り入れ、日常の中で「自分でできた！」達成感を積みます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お菓子の袋を開ける時、全部開けて渡すのではなく『2ミリだけ小さな切れ目を入れて渡し、左右の指でつまんで引っ張らせる』と毎日楽しくつまむ力(ピンチ力)が育ちます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 07｜偏食・感覚過敏・食事の楽しさ

食べられる物が極端に少ない 初めての食材や食感を嫌がる

無理強いは一切ゼロ！手作りの温かい昼食と安心のスモールステップで「食べる楽しさ」を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 白いご飯・ポテト・特定のパンなど決まった物しか口にしない
- 見たことがない料理や野菜がお皿に乗っているだけで泣いて拒否する
- ドロッとした食感や混ざった食材を嫌がり、食事の時間が苦痛になる

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点

偏食はわがままではなく、お口の中の「感覚防衛反応」です

舌や口腔粘膜が敏感なお子さまにとって、初めての食感や混ざった食材は「得体の知れない危険物」に感じられます。無理強いをやめ、安心できる食卓環境から始めると防衛が緩みます。

お子さまの食のハードルに合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:初めての食材を見るのも嫌がり離席する時

無理強いは一切せず、まずは『確実に食べられる物』だけをお皿に乗せて安心感を守り、別皿で「見るだけ・匂いを嗅ぐだけ」から始めます。

■ B:混ざった料理や特定の食感が苦手な時

具材を混ぜずに別盛り・一口サイズに分け、お友だちや先生が「おいしいね！」と食べる姿の中で「ちょんと舐めてみよう」を引き出します。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



口腔過敏と食卓の緊張

「無理に食べさせられるかも」という警戒心で、お口が閉じてしまいます。

02 安心食卓



無理強いゼロの昼食

手作りの温かい昼食やおやつで、食べられる物から楽しい食卓を体験します。

03 感覚段階



見る→匂い→触る

「見る・匂いを嗅ぐ・フォークで触る・唇にちょん」を段階的に褒めます。

04 育つ姿



一口の自信と食拡大

お友だちと笑顔で食卓を囲め、食べられる食材や味の幅が広がります。



実践① 手作りの温かい昼食(偏食配慮)

お弁当負担を減らし多様な味に親しむ

ベストチョイス各務原では手作りの温かい昼食を提供。感覚過敏のあるお子さまには食形態や別盛りを個別調整し、安心感を育てます。



実践② お友だちと囲むピア食育

楽しい食卓の雰囲気で興味を喚起

家では緊張してしまう食事も、少人数のお友だちと楽しい雰囲気で囲むことで「一口舐められた！」という変化が生まれています。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

苦手な食材は『別皿に米粒サイズだけ乗せ、フォークでツンツンするか匂いを嗅げたら100点満点で褒める』ようにすると、お口の防衛反応が少しずつ緩みます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 08｜トイレトレーニング・靴履き・身辺自立

オムツがなかなか外れない・トイレを怖がる・靴の左右が難しい

失敗を責めず、定時誘導と「目で見てわかる視覚マーク」で「自分でできた！」を積み重ねます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- トイレに誘っても「いかない！」と嫌がり、便座に座るのを怖がる
- おしっこが出たことを教えられず、オムツ卒業のきっかけがつかめない
- 靴を左右逆に履いてしまい、手洗いや着替えの手順が定着しない

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
トイレ空間の安心感と「見てわかる手順マーク」で進みます

トイトレが進まないのは膀胱機能の成熟途上や「狭い空間・水流音への不安」「手順が見えない不安」が原因です。靴の左右や手洗いも、言葉の注意より視覚マークで示す方が一目で理解できます。

お子さまのステップに合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:トイレ空間や便座に座るのを怖がる時

「ご褒美シールを貼ったらトイレを見に行こう！」と楽しみを作り、出なくても『便座に座れたらハイタッチ！』から安心感を育てます。

■ B:靴の左右間違いや手洗い手順が抜ける時

玄関に『左右の足型合わせマーク』、洗面所やトイレに『手順イラストカード』を掲示し、自分の目で見て確認できる環境を整えます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



空間不安と手順不明

感覚の未熟さや見通し不足から、トイレや着脱に抵抗感が生まれています。

02 定時誘導



節目の声かけで便座へ

来所時・昼食後・おやつ前の節目に明るく誘い、座れたことを褒めます。

03 視覚マーク



手順表と足型マーク

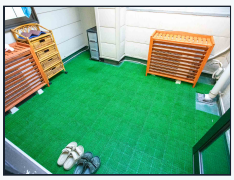
トイレ手順表や下駄箱の足型マークを使い、目で見て自分で揃えます。

04 育つ姿



オムツ卒業と身辺自立

自分から「トイレ行く！」と伝えられ、靴履き・手洗いが一人でできます。



実践① 清潔なトイレでの段階的トイトレ
ご家庭・園と歩調を合わせた排泄支援

失敗しても一切責めず、「トイレに行けた」「便座に座れた」を一つずつ認めながら、ご家庭・保育園と排泄間隔を共有して進めます。



実践② 靴の着脱・左右揃え＆手洗い習慣
「自分で靴を脱いで揃える」習慣定着

靴の左右も視覚マークで楽しく確認し、シール貼り・荷物整理・手洗いまで園や小学校と同じ生活動線を毎日練習します。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

靴の中敷きに『左右を並べると1つの絵になるシール』を貼るか玄関に足型シールを貼っておくと、「逆だよ！」と注意しなくても自分からゲーム感覚で揃えます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

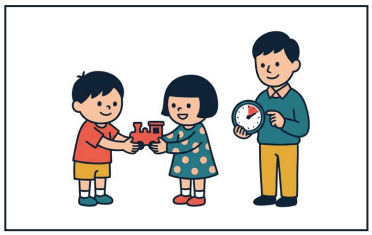
所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 09｜お友だちとの貸し借り・順番・ルール

おもちゃを貸してと言えず奪う 順番やゲームのルールが守れない

大人と1対1の信頼づくりから「並行遊び → 小集団SST」の3段階で無理なく社会性を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- お友だちが遊んでいるおもちゃを無言で取り上げてしまいトラブルになる
- 自分の使っているおもちゃを「貸して」と言われると怒って突き飛ばす
- 滑り台やゲームの順番が待てず、割り込んだり勝敗で泣いてしまう

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
意地悪ではなく「いつ自分の番が来るか見えない不安」が原因です

幼児期は「今すぐ遊びたい！」衝動を抑える力と他者視点が発達途上です。「貸したら返ってこないかも」という不安をタイマー等で解消し、大人が言葉を仲介するとやり取りが育ちます。

お友だちとの関わり場面に応じた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:お友だちの玩具が欲しくて奪ってしまう時
スタッフがすぐ横に入り、『かしてって言ってみようか』『タイマーが鳴ったら交代ね』と具体的な言葉のモデルと終わりの見通しを仲介します。

■ B:自分の玩具を貸すのが嫌で怒ったり泣く時
無理に奪って貸させるのではなく、『あと3分遊んだらどうぞしようね』と本人の満足感も守り、貸せた瞬間に大きく褒めて自信を育てます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



順番不安とやり取り未熟
どう言えばいいか分からず、奪われる不安から防衛的になっています。

02 並行遊び



大人と1対1＆隣で遊ぶ
スタッフとの信頼を築き、お友だちの隣で安心して遊ぶ経験を積みます。

03 仲介練習



タイマーでかして交換
交代の時間をタイマーで視覚化し、「かして」「いいよ」の交換を練習します。

04 育つ姿



小集団ルール遊びSST
順番待ちや「ごめんね・いいよ」が自然にでき、笑顔で一緒に遊べます。



実践① ボーリング・魚釣り等の小集団SST
少人数で「順番待ち・応援」を体験
2～4人の小集団で順番交代ゲームやおやつ時間を過ごし、「待てば必ず自分の番が来る！」安心感とルールを守る楽しさを体験します。



実践② 専用中庭での遊具交代・関わり支援
指導員が仲介し「かして・いいよ」へ
遊具や玩具の貸し借り場面でスタッフが丁寧に言葉を添え、お友だちに「どうぞ」ができた喜びを積み重ねて園生活の自信へつなげます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

きょうだいやお友だちとの玩具の交代は「もう貸してあげなさい！」ではなく、『タイマーが鳴ったら交代ね』と時計を審判役にすると子ども同士が納得しやすくなります。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

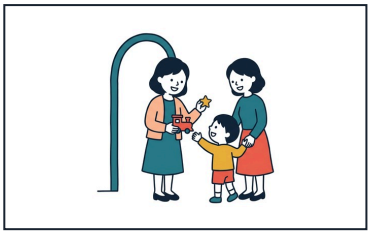
所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 10｜母子分離不安・場所見知り・外出SST

初めての場所や集団で固まる 母子分離で強く泣いてしまう

母子分離の不安に寄り添い、好きな玩具での迎え入れから「中央図書館お出かけSST」へ広げます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 登園・登所時に保護者と離れるのを激しく嫌がり、しがみついて泣く
- 初めての場所や人が集まる場面に入ると、緊張して固まり動けなくなる
- 外出先や公共施設で走り回ったり大声が出ないか不安で出かけづらい

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
感受性が豊かで慎重なお子さまには「第2の安全基地」が必要です

見通しの立たない環境や大勢の視線は、慎重なお子さまに強い緊張を生みます。まず「ここは安全で先生が守ってくれる場所だ」という愛着を築くと、外の世界へ踏み出す勇気が湧きます。

お子さまの緊張・不安場面に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:登所時に保護者と離れるのが不安で泣く時
無理に引き離さず、出席シール貼りや大好きな玩具(ボールプール・電車・絵本等)を用意して迎え、「お迎えに来るよ」と見通しを伝えます。

■ B:集団活動や外出先に入ると緊張で固まる時
最初はスタッフと1対1で手をつないで端から見るだけでもOKとし、毎月第1金曜の『各務原市中央図書館(開放デー)』等で楽しく外出経験を積みます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



未知の環境への警戒心
何をする場所か分からず、保護者と離れる不安から心身が固まっています。

02 安全基地



好きな玩具で温かい迎え
大好きな玩具と笑顔のスタッフが出迎え、帰りの時間まで見通しを保証します。

03 小集団体験



安全な中庭と季節行事
囲まれた安全な中庭あそびや季節行事を通じ、仲間との楽しい体験を重ねます。

04 育つ姿



図書館外出と社会参加
笑顔で入室でき、図書館や公園でもルールを守って楽しく過ごせます。



実践① 中央図書館へのお出かけSST
公共施設と連携し外出マナーを体験

図書館の特別開放デーを毎月定期利用し、先生と手をつないで歩く・静かな声で過ごす・自分で絵本を選ぶ社会経験を楽しく育てます。



実践② 安全な専用中庭＆少人数空間
飛び出しの心配がない中庭で心身解放

道路に面していない安全な専用中庭と、1日定員10名の落ち着いた室内環境により、場所見知りがあるお子さまも笑顔で過ごせます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」
初めての場所へ出かける前は、スマホで『行く場所の写真を見せて「本を2冊選んだら帰ろうね」とゴールを先に伝えておく』と、見通しが立って落ち着いて行動できます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」
①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 11｜保育園・幼稚園との並行通園＆就学準備

園の集団で疲れやすい・保育園と併用し就学へ備えたい

保育園・幼稚園への柔軟なお迎え送迎と、園・小学校・支援学校との「公式連携会議」で支えます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 保育園・幼稚園の大集団では緊張や疲れが強く、帰宅後に荒れてしまう
- 園を休まずに午後から専門的な個別療育も受けさせたいが送迎が難しい
- 小学校(通常級・支援級)や特別支援学校への進学準備・手続きが不安

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
「園の集団生活」×「少人数の個別療育」の併用が最良の選択です

20～30人規模の園生活は刺激が多く、周囲に合わせようと頑張りすぎて疲れがちです。園へ直接お迎えに行って午後から個別療育を行い、有効な支援法を園や進学先と共有すると相乗効果が生まれます。

お子さまの通園状況・目標に合わせた「2つの通い方ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:保育園・幼稚園に通園中で午後併用したい時
午前中は在籍園で過ごし、お昼過ぎに送迎車で園へお迎え、午後療育後にご自宅へ送る『並行通園コース』で無理なく両立できます。

■ B:これから入園や小学校・支援学校を目指す時
午前からの1日コース(10:00～16:00・昼食＆お昼寝対応)や就学準備プログラムで生活習慣・着席・指示理解を育て、移行先へ引き継ぎます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



大集団での疲労と差
園での一斉指示や刺激に疲れ、家庭と園で支援法が共有されていない状態です。

02 園お迎え



保育園送迎と休息配慮
在籍園へ直接お迎えし、疲れ具合を聞き取って必要時は休息室で整えます。

03 就学準備



着席・運筆・荷物整理
少人数で「着席・指示理解・運筆・荷物整理・発表」の練習を重ねます。

04 育つ姿



園・学校連携で移行
在籍園・小学校・特別支援学校・相談支援専門員と連携し安心の就学へ。



実践① 自宅・保育園・幼稚園を結ぶ送迎
共働きも安心！園お迎え→ご自宅送り
各務原市内を中心に、ご自宅や在籍園への柔軟な送迎(片道30分圏内・9:30～16:30)を実施。日々の様子は連絡帳と面談で共有します。



実践② 在籍園・学校・相談員との連携会議
有効な支援法を在籍園・小学校へ共有
那加こども園・さくら幼稚園・蘇原保育所・かかみがはら支援学校・各相談支援事業所等と定期カンファレンスを実施し一貫支援を行います。

◆ 保護者さま・相談支援専門員さま・園の先生方へ
就学相談票の作成サポートや、受給者証の新規取得・更新手続き、園での集団適応に向けた環境調整のご相談も随時承っております。受給者証の申請前でもお気軽にご相談ください。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」
①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談

CASE 12｜多文化・4言語対応・母語と日本語の両立

家庭の母語と日本語の間で戸惑う 園や小学校の就学手続きが不安

日・英・ポルトガル・スペイン語の4言語常勤スタッフが、母語を守りながら日本語と就学を支えます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 家で外国語を話しており、言葉の遅れが二言語環境のせいか悩んでいる
- 日本の保育園での生活ルールや、小学校・支援学校の就学手続きが不安
- 療育での様子や家庭での困りごとを、母語で細かくスタッフに相談したい

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
おうちの「母語」は親子の絆と思考の土台！やめないでください

国際的な発達科学研究(Hambly & Fombonne, 2012)により、二言語環境が発達の遅れの原因ではないと実証されています。母語の安心感を守りながら絵カードで日本語へ橋渡しします。

お子さまとご家族のニーズに合わせた「2つの多文化ブリッジ支援」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:お子さまの日本語理解・園生活を伸ばしたい時
常勤スタッフが母語と絵カードでお子さまの緊張をほぐし、『母語の言葉 ⇔ 視覚カード ⇔ 日本語の言葉』を遊びの中で自然につなげて伸ばします。

■ B:受給者証・園連絡・就学手続きでお困りの時
ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語で連絡帳や面談に対応し、市役所手続きから保育所・小学校・支援学校との連携まで母語で伴走します。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



言葉の壁による孤立感
家庭言語と園言語のギャップでお子さまが緊張し、保護者も孤立しがちです。

02 母語受容



4言語対応で心を開く
日・英・ポルトガル・スペイン語で温かく迎え入れ、親子の安心感を守ります。

03 橋渡し



絵カードで生活日本語
視覚カードとごっこ遊びで、園や学校で使う生活語彙(「かして」等)を育てます。

04 育つ姿



母語の誇りと就学自信
母語の絆と日本語のやり取りを両立し、園・小学校・支援学校へ笑顔で進みます。



実践① 4言語(日・英・葡・西)対応窓口
連絡帳から行政手続まで母語で対応
受給者証の申請手続きから、日々の療育でのお子さまの成長報告、就学相談票の作成まで母語で丁寧に伴走します。



実践② 在籍園・学校との多文化連携会議
家庭の文化を尊重し園・学校と橋渡し
保護者の同意のもと、保育所・幼稚園や就学先の小学校・特別支援学校と定期カンファレンスを行い、ご家庭の意向を共有します。

◆ ご家庭へのメッセージ（Português / Español / English 対応）

ご家庭ではお父様・お母様が一番自然に愛情を伝えられる母語でたっぷり語りかけてください。母語で育った「心の土台」の上に、私たちが日本語と生活ルールを楽しく積み上げます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談